



お盆

一年に一度ご祖先様をお迎えしてお供養申し上げましょうとお勤めする行事がお盆です。日本ではすでに7世紀の半ばごろから朝廷でも民間でも行われていたといえますから、仏教渡来と殆ど同時に行われてきた行事のようです。

迎え火・送り火を焚き、お墓にお参りして亡き人をお供養することは日本古来の美德ですし、日本文化の華と云うべきでしょう。ところが世の中には、とんでもない誤解から美しい花の咲くことがあります。そのよい例がこのお盆だと思えます。

盆ということばは、古いインドの言葉で「ウランバーナ」と云います。ウランバーナが孟蘭盆と中国語に移され、それが日本で「ぼん」とつづまって渡って来たのです。もとの「ウランバーナ」。

ことばの意味は(懸倒)「逆さに吊り下がっている」と云う意味です。その言葉の意味を死後、地獄や餓鬼道に落ちたなら、さぞかし逆さ吊りの苦しみに逢っているに違いない。迎え火たいご祖先さまお迎えしてお供養申し上げようと、そのように解釈して始まった行事です。

が、これはいわば「誤解から生まれた美しい花」です。

では、「ウランバーナ」とは、本当はなんだったのでしょうか。

目蓮(モリエン)は、お釈迦さまの十大弟子の一人でした。フト死んだ母が懐かしくなつて探してみますと、母は、餓鬼道に墮ち苦しんでいます。目蓮を育てるに当たりいろいろ罪を造ったからです。私のために母が餓鬼道に墮ちて今も「逆さ吊り」の苦しみを受けている。初めて母親のことを知った目蓮はお釈

迦さまにこの母を救ってだてをお願いしました。「いま安居」で修業している弟子たちを供養し、共に学びなさい。

お釈迦さまは、夏安居(げあん)といつて、毎年、弟子たちと一緒に(雨季のあいだ)夏の長期研修会をなさいました。長い雨季のあいだ森にこもってそれぞれに瞑想したり修行したり学問を励むのです。

その長く厳しい研修会の最終日。戒律には八月十五日と定められています。その最終日を自恣(じし)といつて、自分を見つめなおす日。「懺悔・反省」する日と定められておりました。

長い期間の修行も学問も、ひょっとして気づかぬうちにうのぼれ高慢の種になってはいないか。いやもっと、わたしたち日常生活、自分中心のひっくりがえった生き方をしてはいないのか。またまた、さかさむきのひとりよがりな考え方になってはいないか。時時刻々、反省、懺悔。

「ものごと逆さに見たり考えたりしているんではないか」その「自恣」の戒めが「ウランバーナ」だったのです。

「目蓮よ、お前一人の力で生きていると思ふなよ。お前のために身を餓鬼道に落としてまで苦勞なされた親の御恩を思い見るがよい」との寓話も後から付け加えられたのでしよう。ひっくりがえった、一人よがりのものの方をしていないか。ひっくりがえった考え

それはほかならぬ、私の問題です。お盆は、人事ではなく私の人生の課題と向き合う日だったので。

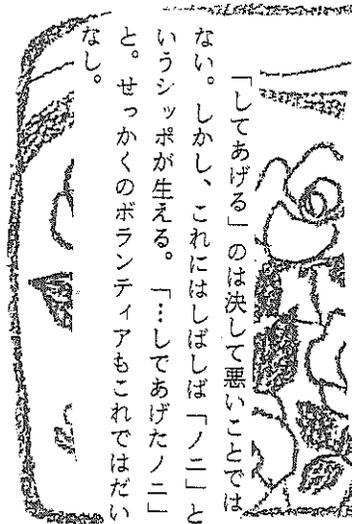


葬儀

七月一三日
桐野 奥地 博子様 九三歳

掲示

助けるんだやない、共に歩むんだ。



戦没者追悼

孟蘭盆会法要

八月八日、勝林寺では「戦没者追悼孟蘭盆会法要」が勤まります。

戦後、どこの村でもこの寺でも勤められていた「戦死者追悼法要」。今はみんな消えてなくなっています。ただ、勝林寺では「仏教青年会」発足以来、戦没者のことを追憶し戦争の悲惨を語り継がねばという思いから、今日まで続いています。

戦死なされた軍人だけではなく、たとえは「満州開拓移民団」のように、軍国主義の甘言にだまされて戦禍のなかで亡くなった人々が、勝林寺ご門徒戦死者の内、老若約三十人を数えます。この方々は国からの褒賞も遺族年金なども全くないままです。また、この方たちの遺族は(一家一村をあげて移民した方が多いので)ないか、年々減少しています。

「戦争」の悲惨を顧み、再びその過ちを犯さぬ覚悟を決意するのは、いま平和を生きている私たちの勤めです。

門徒全員の力で、この法要を続けたいと念じます。お参りください。

八月 勝林寺 予定

- 一日(水) 出石組 実践運動委員会
- 一日(水) ~ 四日(土)
- 出石高校剣道部 合宿
- 四日(土) 銀杏会(京都)
- 四日(土) ~ 八日(水) 教員免許更新研修
- 八日(水) 孟蘭盆会
- 九日(木) 金久英明宅 初盆
- 十日(金) 出石仏教会 P U S H 研修
- 十一日(土) 出石 A お盆回り
- 森友敏裕宅 初盆
- 十二日(日) 出石 B お盆回り
- 亀井博文宅 初盆
- 教森美咲子宅 初盆
- 十三日(月) 出石 C お盆回り
- 永井哲雄宅 初盆
- 足立幸夫宅 初盆
- 一九(日) 勝林寺子供会
- 二五日(土) 田中重雄宅 33回忌
- 二六日(日) 奥地余男宅 忌明法要

みのりを聞く会

(敬称略)

